

6月4日の記者会見で。鈴木教授(前列左から2人目)、尾池学長(同3人目)と関係者



産学官連携商品が完成

鯨肉を有効活用 学内外で販売中

◀ オランダせんべい鯨大和煮風味

理工・鈴木教授を中心に開発

石巻市特産の鯨肉の有効活用を目指し、理工学部生物科学科の鈴木英勝教授が中心となって開発を進めてきた産学官連携企画商品「オランダせんべい鯨大和煮風味」が完成した。

石巻で長く愛される「鯨大和煮」と山形県産の銘菓「オランダせんべい」のコラボ商品で、6月7日から石巻市や仙台市などで販売を開始。学内では学生会館2階のコンビニで扱っている。

本校は2022年度から石巻市と連携し、鯨食文化の継承と地域活性化を目的とした鯨肉の有効活用に関する研究に取り組んできた。開発は、かね久(仙台市)、酒田米



学内のコンビニで商品を手に入る学生たち

東(山形県酒田市)、木の屋石巻水産(石巻市)と共同で進め、商品化にこぎ着けた。

オランダせんべい鯨大和煮風味は、「パリパリとした食感の中に鯨の風味が感じられておいしい」と好評で、鯨大和煮の製造過程で出る端材を活用するなどSDGsの達成にも貢献する。

6月4日、石巻市役所で行われた記者会見には、本学から尾池守学長、鈴木教授と研究室の学生2人が出席。鈴木教授は「鯨は石巻地域の食文化。研究を進めるなかで、鯨にはさまざまな優れた機能を持つ成分が含まれていることが明らかになった。研究成果を生かして、今後も地域活性化につながる商品開発を進めたい」と語った。

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ
https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の情報は大学HPで。
QRコード

理工「野外生物実習」

森林・干潟・水田で自然や生物を観察

理工学部生物科学科の1年次生が履修する「野外生物実習」では、屋外のさまざまなフィールドに赴き、自然や生物の観察を行っている。



【植物実習】依田清胤教授(右)の解説を聞く学生たち



【海洋生物実習】渡波海岸での生物観察

今年度は、5月25日に宮城県栗原市花山でフナ帯の森林を対象とした植物実習、6月8日に石巻市の渡波海岸と万石浦で磯と干潟の自然環境を観察する海洋生物実習、15日に本学周辺の水田から水を探取し生物や水質を調査する動物実習の三つの実習を実施した。学生からは「標高と植生(植物実習)」「石巻の海に興味があった(海洋生物実習)」「採取した生物を顕微鏡で観察し、スケッチすることが楽しかった(動物実習)」などさまざまな感想があった。

経営「地域産業論」

起業・事業承継目指すワークショップ開催

経営学部経営学科の地域産業論では、起業家や事業承継を目指す学生を対象とした「創業・家業をデザインするワークショップ」が行われている。今年度は石巻産業創造株式会社と連携し、全5回のプログラムを実施。受講生は、石巻地域で活躍する経営者による講話を聞いたり、金融機関の職員から指導を受けたりしている。

進路ガイダンスを開講



真剣に受講する3年次生

進路支援係では、3年次生を対象とした進路ガイダンスを開講している。6月13日には、「業界・企業・職種研究講座」を開催し、企業説明会に参加する意義などを話したほか、後輩たちにエールを送った。また、27日には「面接突破講座」で活マナー講座を開講。夏期休暇を利用してインターンシップなどに臨む3年次生にとって、学びの多いガイダンスとなった。

Aチームが優勝

杜の都弓道大会



6月16日に行われた第29回杜の都弓道大会の大学生の部に弓道部が出場。3人1組の団体戦で、平塚翼さん(経営4・宮城県石巻商業高)、館田恭輔さん(経営3・青森県青森西高)、尾形望夢さん(経営2・福島県福島工業高)のAチームが優勝を果たした。

後期は9月19日木の進路ガイダンス(適性診断)から始まる。4年次生内定者による就職活動体験談や3年次生全員参加の模擬面接会など、多彩な講座を予定。日程や詳細は、進路支援室の掲示板やin Camp usなどで確認を。

初の企画展開催

伝承館で解説員務める佐藤陸さん(人間4)

みやぎ東日本大震災津波伝承館(石巻市)で6月6日から30日まで、震災ボランティアに焦点を当てた企画展開催。

2年次生のときに伝承館のボランティア解説員になり、現在は副主任解説員として活躍の場を広げる佐藤さんに、初めて担当した企画展について話を聞いた。

企画展開催の経緯は?

伝承館が今年で開館3周年を迎えること、石巻専修大学が地震直後から復興拠点としての役割を果たしてきたこと、解説員として活動するなかで来館者からの「ありがたい、ためになった」の言葉がやがていになったことから、今回の展示を企画しました。

準備や解説業務にどんな気持ちで取り組んだか?

展示内容を考える過程

来館者が自らの経験を書くことができるパネルを用意したのですが、多くの方に参加いただき、個人の多様な経験を展示として紹介することができました。初めて展示を企画するなかで、内容や表現方法についてアドバイスをいただき、自身の学びにもつながりました。

東北学生陸上競技選手権

女子競走部 エスターさん 5000m 大会新で優勝



大会新で優勝したエスターさん

5月31日から6月2日にかけて山形県で開催された「第77回東北学生陸上競技対校選手権大会」で、女子5000mの部で、女子競走部のムワンギ・エスターさんが優勝した。

エスターさん(経営1・島根県益田東高)が16分36秒07の大会新記録で優勝した。女子競走部初の留学生として入学し、初のタイトル獲得となったエスターさんは「優勝できたことはうれしい」と喜びつつ、「自己ベストは更新できたが、目標タイムには届かなかった。次の大会では目標を上回る走りをしたい」と力強く語った。